

2023年度 ESD活動支援センター 事業概要

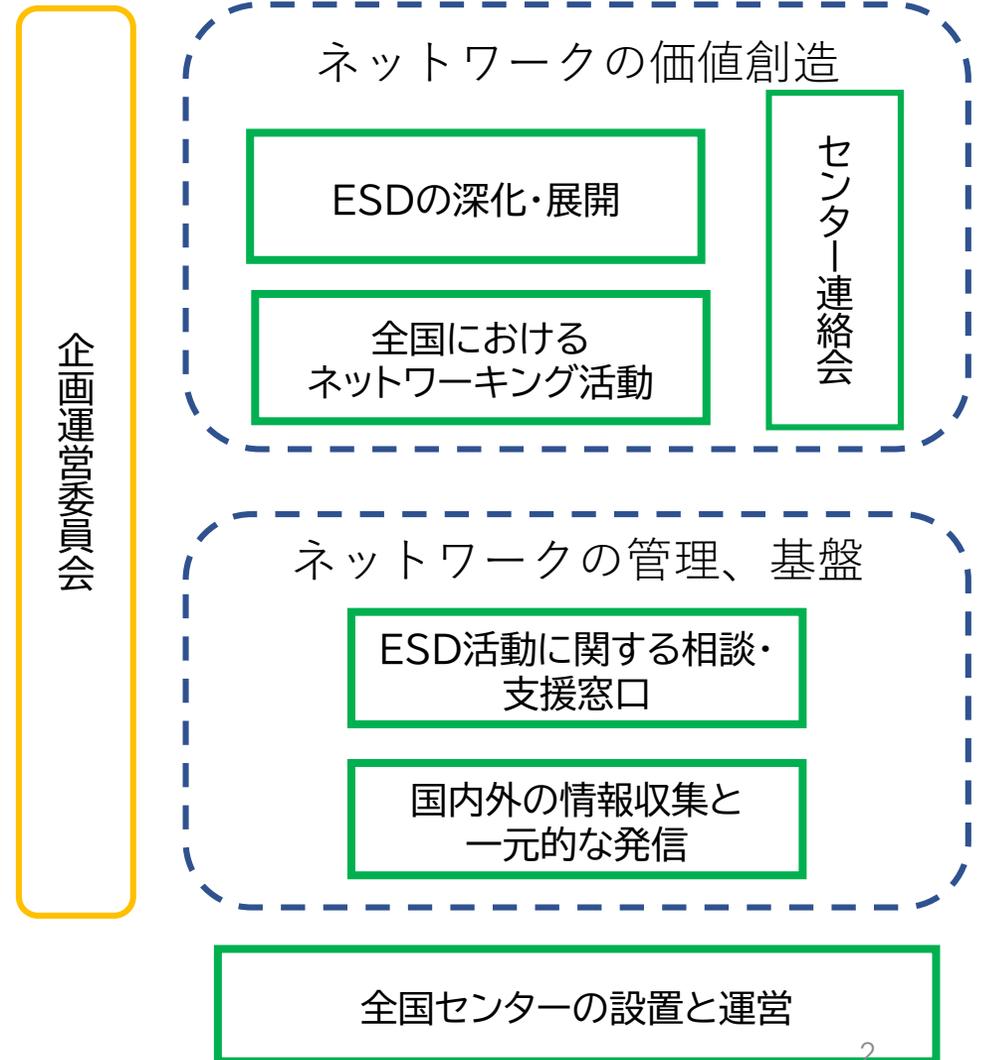
2023年6月27日

2023年度 第1回 ESD活動支援企画運営委員会資料

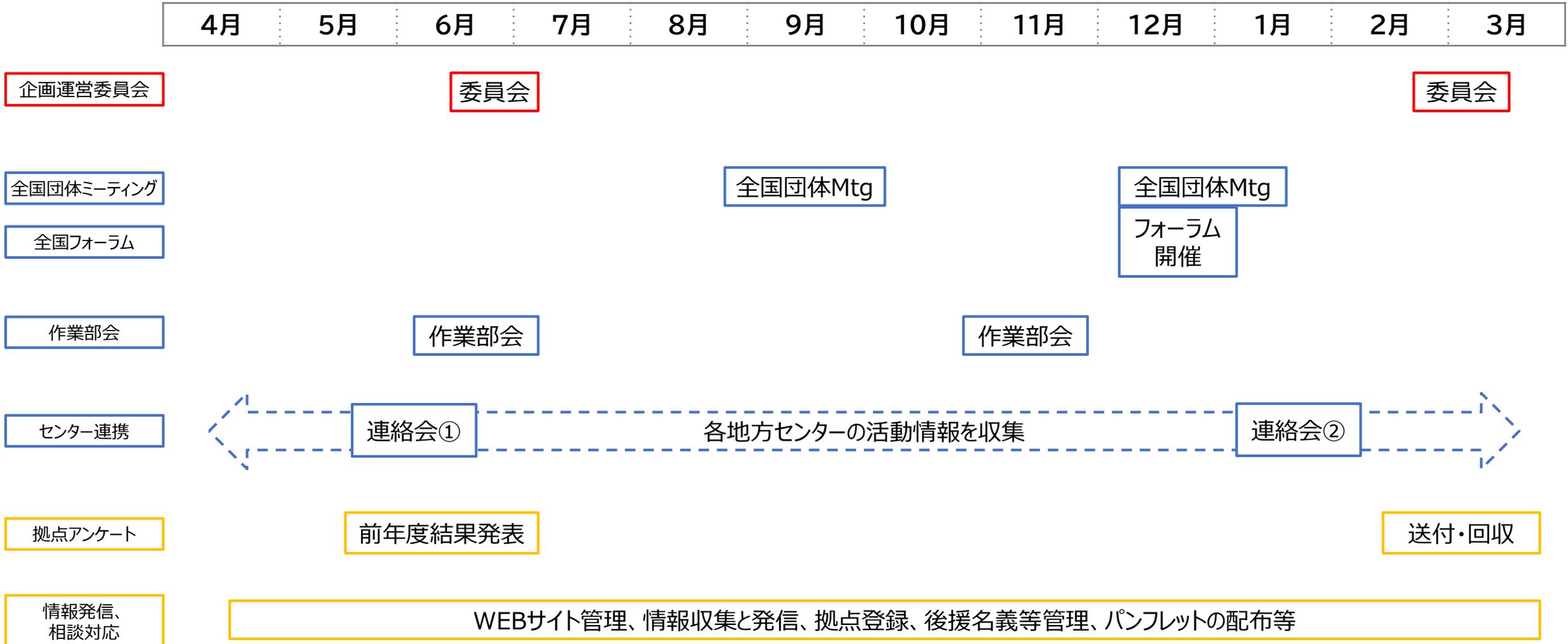
R5年度センター・ネットワーク活動計画

• 全国センターの主な活動

- ESDの深化・展開の場づくり
 - ESD・気候変動教育の実践支援、相互参照の場づくり
 - 作業部会を設置し、8センターとともにノウハウ蓄積、成果の積み上げをする
- 全国規模団体とのネットワーキング
 - ESD・気候変動教育に関する団体とのネットワーキング
 - 企業や教育分野とのネットワーキング



全国センターの活動スケジュール概要(予定)



作業部会

- ねらい：
 - ①各センターの活動、拠点アンケートによる結果から、各地の「宝」の掘り起こしをする
 - ②学びあいPJを通じて、気候変動教育をつなぐ「横ぐし」を定義する。3領域に応じた戦略をまとめ、次の場づくりにつなげる
- 実施時期：6月、11月（都内、2時間程度）
- 参加者：地方ESD活動支援センター、企画運営委員（白井委員、遠藤委員を想定）
- 委員への期待
 - 白井委員：環境教育学会で進められているプロジェクトなどから、気候変動教育のポイントや実装のための戦略にアドバイスをいただく
 - 遠藤委員：気候変動だけをターゲットにするのではなく、他のSDGs領域との掛け算により可能性や必要性についてアドバイスをいただく。（政策視点でポイントを押さえていただく）
- 会議内容

6月

- 8センターが作成する気候変動教育の実践チャートの共有
- 拠点アンケートから気候変動教育実践事例を抽出して共有
- 各センターの戦略やインパクトを集約

11月

- 各センターの戦略をNWで定義する気候変動教育の戦略にまとめるための議論
- 議論をベースとした実践事例のマッピング、可視化

全国団体ミーティング

- ねらい：
 - ① 参加団体の気候変動教育実践事例を共有する
 - ② この場を通じてそれぞれの実践にESDの視点が実装される
- 実施時期：9月、12月（都内、3時間程度。12月はフォーラムと同時開催）
- 体制： JCCCAと共催
- 参加者： 全国センターの協力団体、気候変動教育に関する話題提供者、地方ESD活動支援センター、企画運営委員

9月

- 話題提供（3者を選定。テーマはESD、気候変動教育、温暖化防止活動センターの中小企業支援活動）及び参加者によるグループディスカッションを実施。
- ディスカッションは、気候変動を切り口としたESDの意義や可能性、異なる分野との掛け算による実装の意義などを論点とする。

12月

- 全国フォーラムと同時開催し、学びあいPJ実践団体との交流をメインとする。
- 運営や詳細な企画は全国フォーラムの企画に合わせるが、第1回に参加した団体や話題提供者による発表の機会を設けることを想定。

令和5年度ESD活動支援センター
ネットワーク価値創造業務について

ESD推進ネットワークの目指す目標

- 業務全体を通して、2025年までに
 - ① 3領域で気候変動教育に取り組む必要性が認識され、実践者の増加や支援体制の構築が確認されること
 - ② 温暖化防止活動推進センター等がネットワークに参画し、地域ESD推進拠点の機能や意義が学校や自治体から認知されていること
 - ③ 気候変動教育が国・自治体・企業の政策に位置付けられ、実践が広がっていること
- の3つを成果目標とする。

ESD活動支援センターの価値創造業務 令和5年度実施方針

- ESD活動支援センターは
 - ① 各地域・分野の気候変動教育の実践状況の整理・可視化
 - ② 地域ESD拠点等との協働による気候変動教育の場づくり・仕組みづくり(拠点機能強化)
- を実施する